

最新版ヘリオスでCO₂算定ツールと連携

日積サーベイ
25日無料セミナー

3D建築積算システム「HEΛIOΣ (ヘリオス)」を展開する日積サーベイ（大阪府中央区、清水達広代表取締役）は、新機能を追加した最新版「ヘリオス2025」を12月下旬に発売する予定だ。住友林業が国内で展開している建設プロジェクトの二酸化炭素（CO₂）算定ツール「One Click LCA」と新たに連携し、脱炭素に取り組むユーザーを後押しする。このほかの新機能を含めて先行的に紹介する無料のオンラインセミナーを25日に開く。

最新版では25項目の新機能を搭載。配置システムやイメージ入力システムのスピードアップを図るなど操作性や使い勝手のさらなる向上を実現した。プラスソフト（埼玉県川口市、竹花利明代表

取締役）の手書きPDF計測ツール「PenPlus for Business」とも連携した。

オンラインセミナーの時間は午後2時から。最新版ヘリオスの新機能を解説する。建物の脱炭素化に向けたカーボンニュートラル（CN）対応試行工事の実施や、CO₂排出量の見える化を実現した「One Click LCA」との連携についても紹介する。「BIM連携積算の今」と題して、ヘリオスを用いたBIM連携積算の最新事例も説明する。

日積サーベイの関連会社であるバル・システムのホームページ（<https://www.val-system.co.jp/>）からセミナーの参加を受け付けている。

